

○健康保険法、船員保険法及び厚生年金保険法における報酬の範囲について

(昭和三十六年一月二六日)

(保発第五号)

(各都道府県知事あて厚生省保険局長通知)

健康保険法第二条第一項ただし書船員保険法第三条第一項ただし書及び厚生年金保険法第三条第一項第五号ただし書の規定により、三箇月を超える期間ごとに受けるものは、各法の報酬から除外されるものであるが、この取り扱いについて左記のとおり定めたので遺憾のないよう取り計らわれない。

おって、貴管下健康保険組合に対しては、貴職からそれぞれ御示達のうえ遺憾のないよう特に御配慮願いたい。

記

- 1 健康保険法第二条第一項ただし書船員保険法第三条第一項ただし書及び厚生年金保険法第三条第一項第五号ただし書に規定する三箇月を超える期間ごとに受ける報酬に該当するものは、年間を通じ四回以上支給される報酬以外の報酬とすること。従って、名称は異なつても同一性質を有すると認められるものが、年間を通じ四回以上支給される場合は、各法の報酬に該当すること。
- 2 報酬が 1 により報酬に該当するか否かの判断は、当該報酬が次のいずれかに該当するか否かにより行なうものとする。
 - (1) 当該報酬の支給が給与規定、賃金協約等によって客観的に定められていること。
 - (2) 当該報酬の支給が一年間以上にわたって行われていること。
- 3 この取扱いは昭和三十六年二月一日から適用すること。